

## 未来へつなぐ

## 原発事故・原爆の経験と教訓

2025年

日時

3月29日 土 13:00-16:00

参加費

無料

方法

オンライン（ZOOMウェビナー）

※3月27日（木）までに申込をしてください。

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_Az0\\_gs5DQIC5msZ6tObwrg](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Az0_gs5DQIC5msZ6tObwrg)

東日本大震災・東京電力福島第一原子力発電所事故から14年目となる現在、震災・原発事故の記憶がほとんどない、または直接経験していない世代が増えてきています。そのような若者世代へ震災・原発事故の経験と教訓をいかに伝えていくかが課題となっており、教材の作成や語り部の育成などの取り組みが行われています。同様の課題は、原爆や公害に関する経験と教訓の継承にも当てはまります。現在の若者世代は、原発事故や原爆の経験と教訓をどのように学び、また、どのように伝えようとしているのでしょうか。

本シンポジウムでは、現在の若者世代に参加していただき、原発事故や原爆の経験と教訓について、これまで学んできたことや伝えてきたこと、逆に語りにくいことなどを率直に話していただくとともに、未来へつなぐためにできることについて、多様な世代の参加者とともに考えます。

## プログラム

## 【開会挨拶・趣旨説明】

後藤忍（福島大学教授・原子力市民委員会）

## 【第1部】 若者世代の取り組み等の発表（予定）

- ・「震災と復興を未来へつむぐ高校生語り部事業」の活動経験のある若者
- ・「高校生平和大使」の活動経験のある若者
- ・「Smile with Kids」の活動経験のある若者
- ・福島大学生 など

## 【第2部】 パネルディスカッション

司会 後藤忍

パネリスト

- ・「震災と復興を未来へつむぐ高校生語り部事業」の活動経験のある若者
- ・「高校生平和大使」の活動経験のある若者
- ・「Smile with Kids」の活動経験のある若者
- ・福島大学生 など

## 【総括コメント】

西島香織（原子力災害考証館furusato事務局長・原子力市民委員会）

主催：福島大学放射線副読本研究会

共催：原子力市民委員会 福島原発事故部会（第1部会）

お問い合わせ：福島大学 理工学群 共生システム理工学類 環境計画研究室

Tel：024-548-5171 E-mail：a067@ipc.fukushima-u.ac.jp